

ぜひ二、三割を意思決定のシステムで補完することはありません。しかしそのシステムすらも、本来はトップリーダーの資質によって組み立てていくべきものです。

私はトップリーダーに座るべき人の資質を問い合わせたいと思っています。それは人間としての信頼感、十分な見識、あるいは説得し、それをやり通すことを自らが信念として感じ、そのリスクを取り、責任を負う覚悟。このあたりが三拍子も四拍子も揃わないと、この順調でなくなつた時代の大転取りをしていくことは、不可能だという前提に立ちたいと思います。

残り二、三割のシステムで補完できることがあるとすれば、それは一つには政権中枢の大問題―社会保障の立て直しとか、税制の抜本改革、温暖化対策、地域主権改革などに耐えられる人材に、一人一つだけ命題を与えて専念させる体制を築くことでしょう。今そうした可能性があり得るのは、五名の定員枠がある首相補佐官しかないと思います。(二)に極めて有能な人材をみて、一つのことに専念させる。そしてその人を中心に、小泉さんのやった経済財政諮問会議に相当する国家戦略会議を政府に設ける。その責任者、議長は内閣総理大臣がついてこそ、です。

これが政権内において、私が感じたことです。

## 質問

命題を与えて専念させる体制を築くことでしょう。今そうした可能性があり得るのは、五名の定員枠がある首相補佐官しかないと思います。(二)に極めて有能な人材をみて、一つのことに専念させる。そしてその人を中心に、小泉さんのやった経済財政諮問会議に相当する国家戦略会議を政府に設ける。その責任者、議長は内閣総理大臣がついてこそ、です。

これが政権内において、私が感じたことです。

命題を与えて専念させる体制を築くことでしょう。今そうした可能性があり得るのは、五名の定員枠がある首相補佐官しかないと思います。(二)に極めて有能な人材をみて、一つのことに専念させる。そしてその人を中心に、小泉さんのやった経渋財政諮問会議に相当する国家戦略会議を政府に設ける。その責任者、議長は内閣総理大臣がついてこそ、です。

命題を与えて専念させる体制を築くことでしょう。今そうした可能性があり得るのは、五名の定員枠がある首相補佐官しかないと思います。(二)に極めて有能な人材をみて、一つのことに専念させる。そしてその人を中心に、小泉さんのやった経渋財政諮問会議に相当する国家戦略会議を政府に設ける。その責任者、議長は内閣総理大臣がついてこそ、です。

## 右肩上がりの時代の経験は通用しない。大きな変化の時代に対応するための「扱い手の変更」を

今の点はおっしゃる通りで、これは本来向かうべき方向とは逆の方向へいたん一步踏み出したことになります。日本の政治は世の中の変化によるかに遅れていますから、それを前提にすると、ひとまず党内安定を優先したという判断そのものは当面は間違っていないと思います。ただ、いずれこれが行き詰まり、能力、資質を最優先にする布陣をしかざるを得ない時がやってくると思います。

やはり一番重要なのは総理大臣です。将棋でいえば王将ですから、それが決まらない限り、どんなに駒を揃えたって機能しません。どういう資質を備えたリーダーを求めるのかに、最終的にはかかつてくる。私は近い将来、必ずこのパズルは一致すると思っています。そうならざるを得ないからです。その時が、本当の意味で日本の夜明けが始まる時だと感じております。

なぜ日本は、党内安定を優先せざるを得ないのか。イギリスでは六百人の下院議員がいます。そこしまで与党議員は大体四百人でした。そのうち百人が、閣僚と一緒に一百人でした。その百人は選挙でも選ばれ続けます。その中で本当にトップリーダーにふさわしいと目された人間が、四十年でトップリーダーに、少なくともここ十五年は就き続けています。トニー・ブレアが四十三歳、当選三回。今のキャメロン総理大臣は当選二回、三十九歳で党首になっています。

そういう体制の中で、残り三百人の与党議員は何をやっているかというと、ひたすら選挙と法案審議、そして採決に関わっています。それで満足できるのか。

「(二)が日本と大きく違うところ

のところです。それが、一つには法案審議が、日本のように与野党の対決方式で、年に何回か法案審議が回ってくると

議形式で、その都度深く法律を論じ合う。それによって与党議員の満

## 小川

足度は、一気に高められています。採決もほとんどその人の判断に任せられていますから(党議拘束がゆるい)、自分の一票が国会の決定に大きな影響を及ぼすということにおいても、各議員の満足度が高められています。

それからもう一つ、「(二)が重要なことです

が、なぜ党の決定に従うかというと、それ

は党が強いからです。選挙を自分でやれば

やります。日本の選挙は大半が自前です。

がやつてくれればやつくれるほど、党が強

くなります。民主党だろうが自民党だろうが、大半の

候補者は自分で苦労してお金を集めて、支

持者を作つて、後援会を組織して、自前で

選挙をやつていますから、党の決定とか、

党の選抜、選別に対するものすごく批判

的に見ていて。

しかしイギリスでは、選挙の実務は各地

域の党組織が担います。資金的にもマンハ

ワーの面でも、かなり党に依存した選挙戦

ですから、自分が国会で議席に与れるかど

うかも含めて、党が命運を握っています。

党の選別なり決定なりに対しても、従順に

ならざるを得ない。そんなことに反発して

いる暇があれば、自分のやれること、やるべ

きことに専念した方がなお面白い、といいう

構造ができあがつていて。

(二)が日本の政治のまだまだ近代化しき

れていない、したがつて時代の変化のスピード

に追いつけていないところの、もう一つの

構造的な要因だと思います。

イギリスの例を申し上げましたが、世界

のスタンダードはすでに四十代で、しかもた

だ若ければいいということではなくて、能力

があるとか、そんなことはもう当たり前。

もうひとつわめて重要なことは、逆説的

ですが、政治の世界に長くないことです。

私は初当選から五年たつて、年齢は三十

九歳です。今、こんなことを言つている私で

すが、今から二十五年後、国会に三十年い

て六十五歳になった時に、果たして同じよ

うな感覚で、同じようなリスクを取る決意

で、覚悟で、事に臨めるだろうか。答えは

明らかにノーです。つまり変化の激しい時

代には、もちろん経験も必要ですが、あま

りに経験が長すぎるのはダメなんだと。せ

いぜい十年と、私は定義しています。

もう一つは年齢がちょうど四十代、つまり

一定の経験値と、なつか冒險ができる余力

を残した年齢です。変化の時代を迎えるに

あたつての適齢期は、四十代だと想像します。

とつゝの昔に成長期を終えて、国際環境

の激しい競争にさらされて変化の時代を生

き抜いている国々では、すでに十年、二十

年前からそういうリーダーを必要とし、

生き出してきている。日本だけが、そうな

らずに未来永劫行けるという理由がある

感覺です。國家を挙げての適材適所、人材

配置は、まさに天の配剤のごとく、必ず近

い将来にそならざるをえない。そういう

思い込みの下に、期限を切つてこの政治と

向き合つて行きたいという気持ちであります。

悲観的なシナリオですが、行くところまで

行って民主党政に代わった。でもやっぱりダ

メだとみんな思つてゐるけれども、さらに

いろいろな配慮の下に成り立つような人事

をやつていては、とてもこの国そのものが沈

没してしまつという認識が広がつた時に、よ

うやく「あるべき」配剤というか、能力主義

できちんとやることになる、ということにな

ります。

## 小川

で

悲観的なシナリオですが、行くところまで

行って民主党政に代わつた。でもやつぱりダ

メだとみんな思つてゐるけれども、さらに

いろいろな配慮の下に成り立つような人事

をやつていては、とてもこの国そのものが沈

没してしまつという認識が広がつた時に、よ

うやく「あるべき」配剤というか、能力主義

できちんとやることになる、ということにな

ります。

悲観的なシナリオですが、行くところまで

行って民主党政に代わつた。でもやつぱりダ

メだとみんな思つてゐるけれども、さらに

いろいろな配慮の下に成り立つような人事

をやつていては、とてもこの国そのものが沈

没してしまつという認識が広がつた時に、よ

うやく「あるべき」配剤というか、能力主義

できちんとやることになる、ということにな

ります。

悲観的なシナリオですが、行くところまで

行って民主党政に代わつた。でもやつぱりダ

メだとみんな思つてゐるけれども、さらに

いろいろな配慮の下に成り立つような人事

をやつていては、とてもこの国そのものが沈

没してしまつという認識が広がつた時に、よ

うやく「あるべき」配剤というか、能力主義

できちんとやることになる、ということにな

ります。

悲観的なシナリオですが、行くところまで

行って民主党政に代わつた。でもやつぱりダ

メだとみんな思つてゐるけれども、さらに

いろいろな配慮の下に成り立つような人事

をやつていては、とてもこの国そのものが沈

没してしまつという認識が広がつた時に、よ

うやく「あるべき」配剤というか、能力主義

できちんとやることになる、ということにな

ります。

悲観的なシナリオですが、行くところまで

行って民主党政に代わつた。でもやつぱりダ

メだとみんな思つてゐるけれども、さらに

いろいろな配慮の下に成り立つような人事

をやつていては、とてもこの国そのものが沈

没してしまつという認識が広がつた時に、よ

うやく「あるべき」配剤というか、能力主義

できちんとやることになる、ということにな

ります。

悲観的なシナリオですが、行くところまで

行って民主党政に代わつた。でもやつぱりダ

メだとみんな思つてゐるけれども、さらに

いろいろな配慮の下に成り立つような人事

をやつていては、とてもこの国そのものが沈

没してしまつという認識が広がつた時に、よ

うやく「あるべき」配剤というか、能力主義

できちんとやることになる、ということにな

ります。

悲観的なシナリオですが、行くところまで

行って民主党政に代わつた。でもやつぱりダ

メだとみんな思つてゐるけれども、さらに

いろいろな配慮の下に成り立つような人事

をやつていては、とてもこの国そのものが沈

没してしまつという認識が広がつた時に、よ

うやく「あるべき」配剤というか、能力主義

できちんとやることになる、ということにな

ります。

悲観的なシナリオですが、行くところまで

行って民主党政に代わつた。でもやつぱりダ

メだとみんな思つてゐるけれども、さらに

いろいろな配慮の下に成り立つような人事

をやつていては、とてもこの国そのものが沈

没してしまつという認識が広がつた時に、よ

うやく「あるべき」配剤というか、能力主義

できちんとやることになる、ということにな

ります。

悲観的なシナリオですが、行くところまで

行って民主党政に代わつた。でもやつぱりダ

メだとみんな思つてゐるけれども、さらに

いろいろな配慮の下に成り立つような人事

をやつていては、とてもこの国そのものが沈

没してしまつという認識が広がつた時に、よ

うやく「あるべき」配剤というか、能力主義

できちんとやることになる、ということにな

ります。

悲観的なシナリオですが、行くところまで</